

ICAP/4 ver8.x.11 Build2817の新しい機能及び特徴

OP ラベルの色の指定:

スケマティック上に表示される電圧、電流、パワーの Operating Point のラベル用に個別の色を選択できます。

パーツを使用した OP ラベルの移動:

パーツを移動すると、その OP ラベルも移動できます。

スケマティック上に配置できるクロスプローブ・グラフの改善:

スケマティック上に高品質の簡単なクロスプローブ・グラフを表示できます。

全デザインでのラベルテンプレート:

Part Properties の Save-template ボタンは、現在のセッションだけでなく全デザインでの永続的なラベル セレクションを作ります。

測定レポートの改善:

ICAP/4Windows, ICAP/4Windows Power Deluxe, ICAP/4Windows RF Deluxe に関しては測定結果のテキスト.RPT ファイルを現在セーブできます。現在スクリプト化された測定結果をセーブでき、カラム・サイズは表示するために選択した十分な桁数をベースに変更します。

簡単な Part bin editor:

現在、それぞれのパーツの Editor ダイアログを閉じ、再オープンする必要がなく、新たな Part Bin タブを 生成でき、それを複数のパーツに追加できます。エディタのオープンされている間に Browse ダイアログで パーツを変更することもできます。Browse ダイアログで"Part Bin Editor"ボタンを再度クリックすること によってセレクトされている Browse ダイアログパーツで再度初期化することもできます。

リサイズ結果ダイアログ:

Simulation Control Results ダイアログは、リサイズ化できるので、スクロールすることなく、一括で全測 定結果を表示できます。

不完全な実行を除外する測定:

モンテカルロ、ワーストケース、RSS のようなマルチ実行解析に関しては、測定結果は、シミュレーション実行で fail したのものを除外します。

モンテカルロ・シミュレーション・テンプレートの改善:

非常に高速化しており、出力ウィンドウの現在のステータスも示します。

Sweep シミュレーション・テンプレートの改善:

同じスイープ変数で複数のパーツを割り当てて、グループとしてそれらをスイープできます。

CSDF ファイルサイズの制御:

.CSDF のファイルサイズは、全ベクタの代わりにセーブを指定するベクタのみを含むことによって低減できます。

64 文字ライブラリ名制限:

現在16文字ではなく64文字を使用できます。





ライブラリファイル制限の削除:

250KB のライブラリファイルサイズ制限は削除されました。

PCB フットプリントの改善:

コンポーネント毎のパーツ数あるいはスワップピンが変更・修正されたフットプリントパーツを Copy/Paste することができます。

IsEd テキストの全インスタンスのハイライト:

ボタンがテキストの Show All インスタンスに対して find ダイアログとツールバーの両方の追加され、それ らをハイライトします。

テキストのドラッグ&ドロップ編集の追加:

テキストをハイライトでき、それを IsEd の別のセクションにドラッグできます。

IsEd ドキュメント・マネージメントの改善:

最初にオープンされたドキュメントは編集しているウィンドウに対し全ウィンドウをフィットするために リサイズされます。別のドキュメントをオープンすると、両方のドキュメントはリサイズされ、セーブし たプリファレンスをベースに配置されます。新たにオープンされたドキュメントはいつも以前にオープン されたドキュメントの前に現れます。以前のカスケードおよびタイル動作は関連する配置をベースにドキ ュメントを再編成します。現在カスケードとタイルはオープンしているドキュメント順をベースに上から 下、左から右の順にドキュメントを自動的に分類します。現在最大あるいはノーマル状態、デフォルト フォントを含む全てのドキュメントサイズと配置をセーブできます。

クリップ上に既にあるテキストに IsEd セレクションを追加:

cut を実施: <Shift>+<Ctrl>+X copy を実施: <Shift>+<Ctrl>+C

IsEd に Search > Select included block Ctrl+B を追加:

開き区切り{, [, (, .subckt 及び対応する閉じ区切り),], }, .ends までの全ての左にカーソルを配置するとハイ ライトされます。これはエクスプレッション・スクリプトやネットリスト・サブサーキット・ネスティン グをチェックするのに有効です。閉じ区切り),], }, .ends の左に配置すると前のブロックが選択されます。

無制限のサイズの波形をインポート:

IntuScope は 100,000 データポイント以上のテキストファイルを読むことができます。

リンクされた X 軸プロットへの波形追加はリサイジング無し:

IntuScope が修正されました。x 軸がリンクされた場合、新しいプロットの軸が同じ名前と単位をもっている限りは、新しいプロットの追加はアンリンクしないので、現在のx 軸のログスケールと互換があります。

複数の波形を簡単にセレクト:

Shift キーを押しながら IntuScope Legend の ID をクリックするとセレクションから波形を追加あるいは 消去できます。同時に複数の波形をカット、コピー、リサイズします。





新たな Digital Data Viewer (DDV):

DDV はデジタルバスの時間変数値を表示する方法を提供します。これは個別にバイナリ(高あるいは低電 圧)データを伝送するスケマティック内のノードのグルーピングで動作しますが、漏れなく表示された場 合、さらに多くの値を表示します。例えば7つの入力ノードのグルーピングを単一の数字を表示するため に7セグメント LED にします。それぞれのコンビーネーションの数字及びゼロを表示するためのニーモニ ックを指定できます。Logic-0及び Logic-1レベルはシミュレーション中に自動的に評価、あるいはマニュ アルで入力することができます。シミュレーション後、Intuscope内でバスと出力値がチャートフォーマッ トでハイライトされ、所望のシグナル(クロック等)と一致します。

【お問合せ先】 株式会社アイヴィス TEL (045) 332-5381 FAX (045) 332-5391 Email <u>support@i-vis.co.jp</u> HP http://www.i-vis.co.jp

